

押切健闘総合5位

Sスケート 世界選手権 高木美は6位

【ベルリン時事】スピードスケートの世界選手権最目優勝。日本勢は中村奨太(ロジネットジャパン)が

終日は6日、ベルリンで行われ、女子で押切美沙紀(富士急)が4種目合計162・7377点で総合5位に入った。高木美帆(日体大)

帯南商高出)は6位、菊池彩花(富士急)は8位だった。▽女子で日本勢最高の

00位を終えて総合4位につけ、最後の5000mは7分13秒01で6位となり順位を落とした。マルティナ

・サブニコバ(チエコ)が2年連続4度目の優勝を果たした。男子はスベン・クラマー

力が足りない。悔しい。

も感じた。「今の自分としては最高のレース」と納得。11日からオランダで行われるW杯最終戦では「次につなげるレースをしたい」と、今季の締めくくりに向けて力を込めた。

長距離課題に 高木美
▽女子の日本勢は3人とも上位8人だけの最終種目5000mに残る健闘を見せた。総合8位の菊池は

3③フロクハイゼン(オランダ)149・672⑩中村奨太(ロジネットジャパン)12・761⑨ウイリアムソン師団(日本電産サンキョー)113・230(中村、ウイリアムソンは最終種目1万mに進めず、3種目の合計得点)

【女子】▽1500m①イレイン・ブスト(オランダ)1分54秒83②サブニコバ(チエコ)1分55秒44③デフリリス(オランダ)1分57秒04⑥押切美沙紀(富士急)1分57秒04⑤中村奨太(富士急)1分57秒04④中村奨太(富士急)1分57秒04⑦菊池彩花(富士急)1分58秒31⑩高木美帆(日体大)1分58秒53

▽5000m①マルティナ・サブニコバ(チエコ)6分52秒57②ブスト(オランダ)7分1秒41③デヨング(オランダ)7分4秒04⑥押切美沙紀(富士急)7分13秒01⑦菊池彩花(富士急)7分18秒12⑧高木美帆(日体大)7分18秒61

▽最終総合得点 ①マルティナ・サブニコバ(チエコ)159・042②ブスト(オランダ)159・732③デヨング(オランダ)161・380⑤押切美沙紀(富士急)162・737⑥高木美帆(日体大)163・807⑧菊池彩花(富士急)164・379

【男子】▽1500m①スベレルンデ・ペデシエン(ノルウェー)1分46秒24②ニエジビエズキ(ポーランド)1分47秒05⑩中村奨太(ロジネットジャパン)1分48秒43②ウイリアムソン師団(日本電産サンキョー)1分49秒59

「お互いどこかで意識しながら切磋琢磨(せつさたくま)できている部分がある。すごくいいチーム」と胸を張った。

6位に入った高木美は「長距離種目に積極的に取り組みたい」と課題を認めた。それでも、昨季の11位から順位を上げ、世界を転戦する中、チームの仲間と「変わらない環境で練習できている」ことの大きさを強調した。